

(参考)

明石市内指定・登録文化財一覧

令和3年4月1日現在

No.	指定者	種別1	種別2	名称	所在地	指定年月日
1	1	国	建造物	明石城巽櫓	明石公園1-27	昭32年 6月18日
2	1	国	建造物	明石城坤櫓	明石公園1-27	昭32年 6月18日
3	1	国	書跡	後桜町天皇宸翰短籍	人丸町	明34年 8月 2日
4	1	国	書跡	仁孝天皇宸翰及一座短籍	人丸町	明34年 8月 2日
5	1	国	書跡	桜町天皇宸翰及一座短籍	人丸町	明34年 8月 2日
6	1	国	史跡	明石城跡	明石公園	平16年 9月30日
7	2	県	建造物	石造燈籠	魚住町中尾	昭38年 8月24日
8	2	県	建造物	石造五輪塔	魚住町清水	昭53年 3月17日
9	2	県	建造物	高家寺本堂	太寺2丁目	平21年 3月13日
10	2	県	絵画	麻布著色孟蘭盆曼荼羅	鍛冶屋町	昭59年 3月28日
11	2	県	絵画	神馬図絵馬	魚住町中尾	平22年 3月 5日
12	2	県	彫刻	木造聖観音立像	材木町	昭59年 3月28日
13	2	県	彫刻	薬師如来坐像	太寺2丁目	平14年 4月 9日
14	2	県	考古資料	鷗尾と断片	上ノ丸2丁目	平 7年 3月28日
15	2	県	考古資料	藤江別所遺跡出土品	上ノ丸2丁目	平21年 3月13日
16	2	県	考古資料	報恩寺跡本堂基壇出土瓦	上ノ丸2丁目	平29年 3月14日
17	2	県	無形民俗	大蔵谷の獅子舞	大蔵本町	昭54年 3月20日
18	2	県	史跡	高丘古窯跡群(5・6・7号窯) (8・9号窯)	大久保町高丘	昭50年 3月18日
19	2	県	史跡	太寺庵寺塔跡	太寺2	昭53年 3月17日
20	3	市	建造物	播州明石浦柿本大夫祠堂碑	人丸町	昭48年 2月 2日
21	3	市	建造物	月照寺山門	人丸町	昭45年 5月21日
22	3	市	建造物	織田家長屋門及付属塀	大明石町2丁目	昭45年 5月21日 平22年 3月11日
23	3	市	建造物	石造五輪塔「善楽寺の平清盛五輪塔」	大観町	昭52年 2月10日
24	3	市	建造物	住吉神社楼門	魚住町中尾	昭53年 3月11日
25	4	市	建造物	旧波門崎燈籠堂	港町	令 3年 1月20日
26	3	市	絵画	絵馬「加茂競馬の図」	魚住町中尾	昭47年 2月25日
27	3	市	絵画	絵馬「森狙仙筆猿の図」	人丸町	昭52年 2月10日
28	3	市	絵画	三十番神像	日富美町	平30年 3月20日
29	3	市	彫刻	木造毘沙門天及び両脇侍像	林2丁目	昭56年 3月19日
30	3	市	彫刻	石造狛犬	人丸町	昭58年 3月31日
31	3	市	工芸品	光明寺の和鐘	鍛冶屋町	昭48年 2月 2日
32	3	市	工芸品	明石城太鼓	上ノ丸1丁目	昭49年 2月 8日
33	3	市	工芸品	明石城御殿平面図	上ノ丸2丁目	昭49年 2月 8日
34	3	市	工芸品	藤村覃定作「地球儀」	上ノ丸2丁目	昭49年 2月 8日
35	3	市	工芸品	鱗口	本町	昭51年 2月 5日
36	3	市	工芸品	緋威金小札胴丸具足獅噛前立 烏帽子形張懸兜付	上ノ丸2丁目	平 7年 3月23日
37	3	市	書跡	三十六歌仙絵及び和歌式紙	人丸町	昭45年 5月21日
38	3	市	書跡	柿本人麿神位・神号に関する文芸資料 等及明石藩関連資料	人丸町	平22年 3月11日
39	3	市	書跡	冷泉為理柿本社奉納和歌	人丸町	令 2年 3月31日
40	3	市	古文書	明石藩主地子免許状	上ノ丸2丁目	昭47年 2月25日
41	3	市	考古資料	藤江別所遺跡井戸内出土品	上ノ丸2丁目	平19年 3月15日
42	3	市	考古資料	林崎三本松瓦窯跡群出土瓦	上ノ丸2丁目	平30年 3月20日
43	3	市	考古資料	寺山古墳石室及び出土品一括	魚住町錦が丘3他	平31年 3月20日
44	3	市	歴史資料	大和型船模型	魚住町中尾	昭55年 3月21日
45	3	市	歴史資料	子午儀	人丸町	昭58年 3月21日
46	3	市	歴史資料	日本標準時子午線関係資料	人丸町	平19年 3月15日
47	3	市	歴史資料	徳川家康感状等横河家伝来資料	上ノ丸2丁目	令 2年 3月31日
48	3	市	無形民俗	大蔵谷の磯口流し	大蔵本町	昭50年 2月 6日
49	3	市	無形民俗	大蔵谷の牛乗り	大蔵本町	昭50年 2月 6日
50	3	市	無形民俗	明石浦のおしゃたか舟	材木町	昭50年 2月 6日
51	3	市	無形民俗	藤江の的射	東藤江	昭50年 2月 6日
52	3	市	無形民俗	清水のオクワハン	魚住町清水	平 6年 1月27日
53	3	市	有形民俗	住吉神社の能舞台	魚住町中尾	昭51年 2月 5日
54	3	市	史跡	旧明石藩主松平家廟所	人丸町2丁目	昭48年 2月 2日
55	3	市	史跡	横河重陳墓	二見町東二見	昭48年 2月 2日
56	3	市	史跡	林崎掘割渠記碑	鳥羽	昭49年 2月 2日
57	3	市	史跡	カゲユ池古墳(1号墳)	藤江	昭51年 2月 5日
58	3	市	史跡	光明寺の明治天皇行在所跡	鍛冶屋町	昭51年 2月 5日
59	3	市	史跡	幣塚古墳	魚住町清水	平19年 3月15日
60	3	市	天然記念物	瑞応寺のそてつ	二見町東二見	昭47年 2月25日
61	1	国登録	建造物	岩佐家住宅主屋・土蔵	鳥羽	平19年 7月31日
62	1	国登録	建造物	明石市立天文学館	人丸町	平22年 9月10日
63	1	国登録	建造物	明石市立中崎公会堂	相生町	平24年 2月23日
64	1	国登録	建造物	旧小久保跨線橋	小久保	平25年 3月29日
65	1	国登録	建造物	中崎ラヂオ塔	相生町	平25年 3月29日
66	2	県登録	建造物	茨木酒造	魚住町西岡	平20年 8月 6日

観音寺棟札

嘉吉2年(1442)5月、領主小川正辰が領民の寄進を得て、荒れた観音堂を瓦葺きの建物に再建した際の棟札。

浦陀山観音寺堂之棟札

当寺観薩埵者 年代深遠而 誰不知何人作 自古有靈宿 人皆蔑不尊 伝聞
昔之堂宇者 才茅舎也 中開山全光老 欲令再建 自力依不足 蒙諸壇越助成
始作甃瓦堂 尔来歴有千余歳焉 荒堂于風俾金軀 為于雨湿 里人愍惻之
訴当境之 令官小川氏之 正辰公 々居常有仁慈 以 故施雲子数石
当行奉加 加之村翁 老婆 亦寄一紙半銭志 營建之 仰冀国泰民安 而此
宝殿与天地共不朽 菩薩慈眼 垂無窮 必 于時嘉吉二年五月吉日 全堤書
以附棟梁上 本願人 小川氏

横河家墓碑

所在地 明石市二見町

横河橋梁の創設者でもある建築家横河民輔が父横河秋涛の墓碑として明治18年(1885年)設計し建てたもの。花崗岩製の丸い円柱に「IN MEMORY OF YOKOGAWA SUTO」[魂乎上天 魂乎委塵 道個覆載 諸元帰真]の文字が刻まれる。秋涛は西洋医学と漢方の両方に通じ、地方医療に情熱を注いだ。

御厨神社弁財船模型

天保6年(1835)、東二見の天神丸・天社丸・天徳丸、西二見の明德丸といった船主が海上安全を祈って御厨神社に奉納した弁財船の模型。大工は大阪のはりまや清兵衛である。船底に文字が刻まれている。

御厨神社弁財船絵馬

江戸時代後期に金毘羅参りをする客を大坂から丸亀まで運んでいた二見の船主16人が奉納したもの。板に8隻の弁財船が描かれる。

休天神社 面、太鼓

大蔵谷獅子舞は、江戸時代から続くもので、かつては東之組、中之組、西之組、浜之組に分かれ、それぞれの技量を競い合っていた。戦時を契機に一時途絶え、昭和44年に中之組と西之組とが統合して大蔵谷獅子舞保存会が結成され、昭和54年に兵庫県指定文化財に指定されている。その後、2組は分かれ、現在も稲爪神社の秋祭りでは両者がそれぞれ獅子舞を奉納している。大蔵谷西ノ組で江戸時代から使われていたひよっとこ面と太鼓で、現在休天神社に納められている。





